



審判副委員長

戦評用紙



種別	バレーボール (聴覚)	会場	大野市エキサイト広場総合体育施設体育館
----	-------------	----	---------------------

平成 30 年 10 月 14 日	日曜日	第 2 日目
-------------------	-----	--------

A	コート	第 9 試合
---	-----	--------

1回戦(第 試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム	25	—	23	}	0	長崎県
兵庫県	25	—	20		都道府県、指定都市名	都道府県、指定都市名
都道府県、指定都市名		—				

【審判員】

主審： 前川 法央 副審： 林 幸則

記録員： 佐々木 直美 A・S： 水上 ひろみ A・S： 広瀬 亜耶子

【戦評】

記載者： 岩先 信浩

兵庫県と長崎県の決勝戦。兵庫県は、西村選手の丁寧なトスと遠山、信田選手の高さのあるスパイクを中心とした攻撃、長岡、吉田選手を中心とした多彩で組織的な攻撃を見せる長崎県の対戦となった。

第1セット、中盤まで兵庫県は、信田、田中選手、長崎県は、長岡、吉田選手を中心に攻撃を行い一歩も譲らない接戦となった。中盤、兵庫県は田中選手のサーブからリードを奪う。長崎県も、全員で粘り強くボールをつなぎ攻撃するが連続得点を奪えず、兵庫県が中盤のリードを守り切り、このセットを取った。

第2セット、兵庫県は序盤から小垣選手のサーブ、信田選手のブロックで流れを掴み大きくリードする。対する長崎県も吉田、副島選手のサーブから長岡選手を中心とした攻撃と組織的な守備で追い上げるも、兵庫県は高さのある攻撃から確実に得点を重ねてこのセットを取り、優勝を飾った。